

19 多様な樹種の天然更新を促進する 新しい地表処理法



WebA°-ジ°

技術のポイント

林床のササの繁茂によって伐採後の天然更新がうまくいかず劣化した針広混交天然林の再生のため、多様な樹種を確実に天然更新させる低コストな地表処理法として、「小面積樹冠下地がき」と「人工根返し」を考案し、実際の施業現場に適用して経過を観察しました。作業後15年を経過した現在、ササの影響を受けずにウダイカンバ、トドマツ、ミズナラ、イタヤカエデ等の多様な樹種が更新しています。

連携・橋渡しの方向

今回開発した技術は、林床にササが存在する天然林における主伐後の更新作業に有効であり、低コストで次世代の天然更新を目指す経営体との連携を希望します。

詳細情報

- ・技術マニュアル：<https://www.ffpri.affrc.go.jp/hkd/research/documents/regeneratioofnaturalforest.pdf>
- ・研究成果：<https://www.ffpri.affrc.go.jp/pubs/chukiseika/5th-chuukiseika13.html>
- ・論文等：森林総合研究所研究報告，21(2):145-151

担当者

北海道支所・石橋 聡



図1 人工根返し作業によってできたマウンドとピット
原生林において重要な更新サイトとなっている根返り木のマウンドとピットを、油圧ショベルを利用して伐根から人工的につくります。



図2 根返しマウンド上に更新したウダイカンバなど
成長の早いウダイカンバの下には、成長が遅いトドマツ等がササの被陰の影響を受けずに更新しています(写真は作業8年後の状況)。

森林産業実用化カタログ2025



お問合せ先

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所
社会実装推進・知財戦略室

E-mail: sangaku@ffpri.affrc.go.jp

URL: <https://www.ffpri.affrc.go.jp/sangakukan/index.html>